



三宅町に三つある杵築神社のうち、旧名「牛頭天王社」の灯籠が残る同町屏風の杵築神社



【3社共通】祭神は須佐男命▽参拝  
自由▽駐車場なし  
【屏風社】三宅町屏風115▽近鉄  
結崎駅から徒歩約20分

【伴堂社】同町伴堂500▽近鉄黒  
田駅から徒歩約10分  
【但馬社】同町但馬279▽近鉄但  
馬駅から徒歩約5分

## 杵築神社 (三宅町)

と感謝の踊りです。

3社は、江戸時代まで

の神仏習合時代は牛頭天

王を祭り、屏風社には牛

頭天王社の灯籠がありま

す。牛頭天王はインドの

祇園精舎の守護神で、

疫病や災厄を司ると考え

られ、当時の人々はこれ

を慰める「御霊会」を

実施。各地に広まり、祇

園祭になったと言われて

います。

明治の神仏分離以降、

牛頭天王と同じ神様と考

えられていた須佐男命

に祭神を変更しました。

杵築神社に改称したの

は、島根県の出雲大社が

関係しているとされま

す。出雲大社は、江戸時

代の初めまで土地の名に

ちなみ杵築大社と呼ば

れ、祭神はスサノオノミ

コトでした。その後、祭神

を大國主命に変え、18

71(明治4)年に出雲

大社と改称しました。

杵築大社はスサノオノ

ミコトを祭る総本社なの

で、三宅町の3社も改称

の際、杵築の名を採用し

たと推測されます。

(奈良まほろばソムリエ  
の会会員 石田一雄)

三宅町は、県内で面積が最小の町で、聖徳太子ゆかりの太子道が南北に走ります。この町には「杵築神社」が3社もあり、屏風、伴堂、但馬3地区の氏神となっています。屏風社と伴堂社は「おかげ踊り」の絵馬(県有形民俗文化財)で有名。幕末の伊勢神宮の集団参詣「おかげ参り」の後、各地で流行した豊年祈願



# 町内に3社 祇園祭ゆかり